

1. 小論文講座

小論文の書き方の講義後(午前・午後各45分)、小論文「環境」「志望理由書」(800字程度)を作成します。それぞれスタッフが添削して返却します。講師は、本学入学前準備教育講師・大槻岳先生。

2. 分野別講義(人文学部) テーマ 文化を読むこと—歴史・メディア・サブカルチャー—

NO	時間	講義名(講師)	講義内容
1	10:15-11:15	〈歴史〉を視る目を 問いなおす (村松晋)	この講義では、「日本史」や「世界史」という「科目」の垣根を取り払い、〈歴史〉の見方・考え方それ自体を問いなおしていきます。「歴史好き」な方はもちろん、「歴史は暗記物だから嫌い」という人も大歓迎です。
2	11:25-12:25	情報が生まれる場所・ メディアが生まれる場所 (河島茂生)	「メディア」や「情報」という言葉を普段よく耳にします。しかし、その言葉の意味を立ち止まって考える機会はありません。そこで、この授業では、情報の編集や書物のあり方などを通して、参加者のみなさんと共に「メディア」「情報」について考えてみたいと思います。
3	13:30-14:30	ヨーロッパ人、日本マンガを 読む—マンガに学ぶ異文化 (柴田史子、佐藤啓介)	今、ヨーロッパで日本のマンガが大ブーム。それはなぜか?そして、そもそもヨーロッパ人は日本マンガをどう読んでいるのか?海の向こうのマンガの読まれ方を探ることで、異文化が見えてくるだけでなく、日本のマンガ文化の深さまでもが見えてきます。
4	14:40-15:40	大学生、マンガの読み方を読 む—マンガに学ぶ人文学 (柴田史子、佐藤啓介)	「マンガばかり読んでいて…」ではないですが、マンガだけで話を終えてしまうのではなく、講義①で学んだマンガの読まれ方から、講義②では「大学で学ぶ物事の読み方」を学んでいきましょう。それによって、「人文学部ってそもそも何?」ということが分かってくるはずです。

3. 分野別講義(児童学科) テーマ つなぐ・つながる —子どもの世界を考える—

NO	時間	講義名(講師)	講義内容
1	10:15-11:30	子どもとともにあること —保育・教育のつながりにつ いて考える— (相川徳孝)	保育者や教職を目指している学生を対象に、幼稚園教諭免許と小学校教諭免許、保育士資格の取得方法、実際の保育はどのような考え方で行われているのか、また保育の中で培われた遊びを通しての学びが小学校での教科教育にどのようにつながっていくのかということを見なさんと一緒に学びます。講義だけではなく、実践的なこと(手遊びや歌等)の楽しさも共有していきます。
2	12:30-13:40	友だちを考える —遊びのなかで— (寺崎恵子)	「わたし」と「ともだち」とのあいだでどのようなつながり合いが生まれるのか、絵本作品を参考にして把握してみましょう。さらに、子どもに起こる「つなぐ・つながる」を遊びを通して学んでみましょう。
	14:00-15:10	音楽にふれる子ども —ヒトとヒトをつなぐ音楽 とは— (村山順吉)	音楽があると夢中になって聞いたり、体を動かしたりしてしまう・・・そんな音楽と子どもの世界はどのように繋がっているのでしょうか?そして子どもたちと私たちは、音楽によってどのように繋がっているのかを、学びましょう。

4. 分野別講義(人間福祉学科) テーマ 人間福祉の豊かな可能性と広がり

NO	時間	講義名(講師)	講義内容
1	10:15-10:40	オリエンテーション [大学で学ぶということ] (牛津信忠)	社会の激動の中、いま、人間(いのち)や環境を大切にすることが強く求められています。人間福祉学科は、これらに関する、生命、環境、心理、福祉にまたがる専門知識と問題解決のための技術について学び、それらに対応できる人間性ゆたかで資質の高い専門家を世に送り出すことをめざしています。今回は、その入門編として、「人間福祉とは何か」また、「バリアフリーの意義」などについて、講義と体験学習を通して学びます。
2	10:40-11:30	ユニバーサルデザインから 学ぶ人間福祉の広がり (野口祐子)	
	11:30-12:00	質疑応答 (増田公香)	
3	13:00-14:30	バリアフリーについて学ば う—バリア体験— [車椅子体験] (助川征雄・野口祐子)	
	14:30-15:00	振り返りなど (助川征雄)	